

ご挨拶

会長

すずき まさのり

鈴木 正範

(株)NTTデータ

代表取締役社長 CEO



このたび、一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）会長を務めさせていただくこととなりました鈴木正範でございます。JAHIS会員の皆様におかれましては、平素よりJAHISの活動にご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

JAHISは、1994年の設立以来、約30年にわたり、医療情報システムの標準化を中核として、政策提言や関係機関との連携を通じ、我が国の医療・介護・福祉分野における情報化を支えてきました。電子カルテ、検査、処方、放射線等に関する各種標準やガイドラインの整備は、医療現場の効率化と安全性向上に寄与するとともに、現在進められている医療DXの基盤となっています。

我が国の医療は、少子高齢化の急速な進行、医療人材の不足、地域医療の持続性といった深刻な構造的課題に直面しています。医療提供体制の維持と質の向上を両立させることは、国民生活を支える上で喫緊の課題となっており、その解決に向けて、国は、「医療DX令和ビジョン2030」を重要政策として位置づけています。

全国医療情報プラットフォームの整備、電子カルテ情報の標準化・共有、電子処方箋の普及、PHRの利活用、診療報酬改定DXなど、制度とデジタル技術を一体で進める取り組みは、本格的な実装段階に入っています。さらに、画像診断支援、診療支援、業務効率化、医療データ分析など、AI（人工知能）の医療分野への適用も進展しています。AIを医療DXに活かすためには、高品質なデータの確保、標準化、相互運用性に加え、説明可能性やガバナンスの整備が不可欠です。

JAHISは2030ビジョンにおいて、「健康で安心して暮らせるデータ循環型社会の実現」を掲げています。これまで培ってきた実績を礎に、標準化を軸としてAIを含む先端技術を適切に取り込み、産業界の知見を結集しながら、医療DXを持続可能な形で社会に定着させ、次代の医療を支える情報基盤の構築に貢献していきます。

皆様の一層のご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。